



ビジネス創出人材育成コンテスト



IoT Innovation Challenge 2019

2019 概要紹介

IoTイノベーションチャレンジとは

IoTイノベーションチャレンジは、JASAが主催する、これからの組込み業界を牽引できる人材の発掘・育成を目的としたアイデアソンです。

今回で2回目の開催となります。企業・団体・教育機関から参加チームを募り、いま産業界や社会に解決を求められている喫緊の課題を選び、IoTを活用したソリューションを企画してもらいます。

多様な分野の第一線で活躍する講師陣によるセミナーとアドバイス、企画立案のため

のグループディスカッションなどを通して、ビジネスをデザインする能力と組み込みシステム全体を俯瞰して捉えるセンスを養っていただきます。

なぜ、IoTイノチャレなのか？

これからの組込み技術者には広い視野とビジネスのセンスが必要とされます。情報処理推進機構が2017年に行った「組込みソフトウェアに関する動向調査」によると、「システム全体を俯瞰できる人材」「ビジネスをデザインできる人材」の不足が顕著になっています(図)。

IoTイノベーションチャレンジを企画した意図はここにあります。ET/IoT展では2017年までハッカソンを実施していました。技術力を高める効果は期待できるのですが、どうしても手を動かすことに集中しがちです。一歩進んで、技術とビジネスを橋渡しできる人材を育成したいと考えました。もちろん、ハッカソンからアイデアソンへの衣替えには賛否両論がありました。JASA(組込みシステム技術協会)が主催するコンテストがアイデアだけでいいのかという議論もありました。でも中途半端はよくない。アイデアソンとして、ビジネスモデルだけに集中しようと思い切りました。

どんな特徴があるのか？

充実したセミナー

そうはいつても、技術者のほとんどは、ビジネスモデルをどう書くか教育を受けたことがありません。そうした教育も、一流講師陣によるセミナーを通してちゃんと提供しようというのが、IoTイノベーションチャレンジのコンセプトです。技術者がビジネスに思いを致すようになれば鬼に金棒です。このセミナーでは、本コンテストに取り組む上で、参加者が通常の業務だけでは得られにくい、ビジネス、イノベーション、IoT要素技術、アーキテクチャといった、ビジネスの企画・検討に必要な内容に関する広範囲の教育を、各分野の第一人者から直接受講することができます。

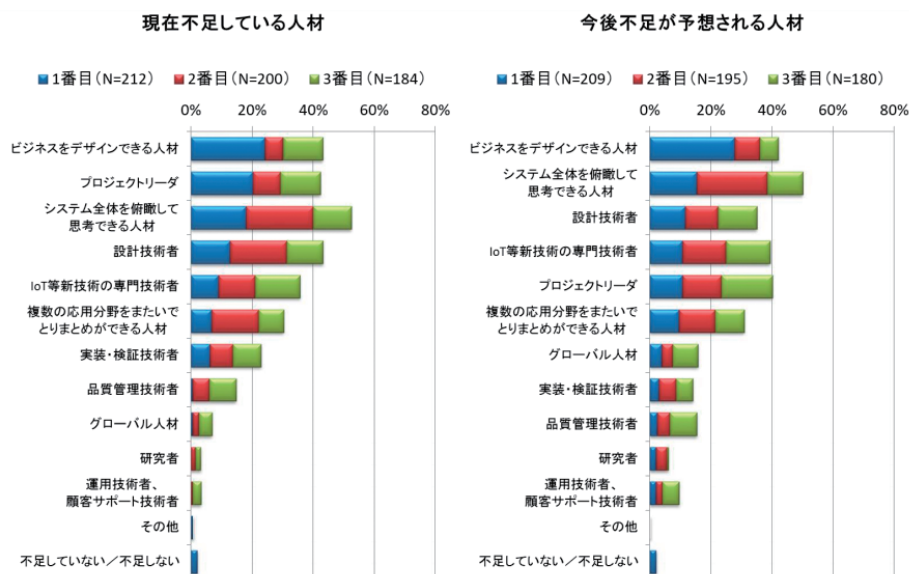


図 情報処理推進機構 2017年度 組込みソフトウェアによる動向調査より

特徴あるコンテスト課題

ビジネスのテーマは、国連が採択したSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)。17のゴールから課題を抽出し、ソリューションを企画します。

本コンテストに参加することで、企業経営における新たな基準として、世界が目指し、取り組みつつあるSDGsに、自分自身の課題として向き合い、深い理解を得ることができるというメリットがあります。

2018年の結果報告

2018年のIoTイノベーションチャレンジには19チームが参加し、いま注目のSDGs (国連が採択した持続可能な開発目標)の17の目標(169のターゲット)から課題を抽出し、IoTを活用したソリューションを企画してもらいました。

一流講師陣による5日間15コマのセミナー/ワークショップ、相談会を経て4チームが一次審査を突破し、11月の決勝審査に進出しました。

決勝審査は、のべ2万6000人超の集客力を誇るEmbedded Technology2018/IoT Technology2018展のメインステージで実施され、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。5分間の熱いプレゼンテーションと審査員による10分間の厳しい質疑応答ののち、(株)電通国際情報サービスのチームkameによる「音声による子育て記録サービス“My Co:そだて”」が最優秀賞、KDDI(株)と(株)KDDI総合研究所のチームKDDIR01による「チームを変革する！～リアルタイム感情フィードバックサービス～」が特別賞を受賞しました。

2019年の新企画

新たな講師による新たなセミナーコンテンツAIの活用、オープンイノベーションの進め方等、新たなコンテンツが加わります。

混成部門の新設

複数企業・団体からメンバーを集めた混成部門を設けます。混成部門でお申込みいただき、チーム・ビルディング(一日かけて実施)を経てチームを決定します。

開催要項

No.
Date

参加資格

- 3～5名のチームを構成すること(教職員を除く)
- チームの全員が18歳以上であること
- 日本語でやり取りできること
- 電子メールで連絡が取れること
- 資料をPDF形式で提出すること
- 開催期間中、次のプログラムにチームの1名が必ず出席すること
 - ・6～8月に計6日間実施されるセミナー/ワークショップ
 - ・9月(予定)相談会
 - ・11月22日(金) ET/IoT 2019における決勝大会(プレゼンテーション)、表彰式

参加費

- 一般企業:100,000円
- JASA会員企業またはET/IoT出展社:50,000円
- 高専、専門学校、大学、大学院など(代表者として連絡の取れる教職員の参加が必須です):40,000円

参加カテゴリ

- 一般
参加者自身でチームを構成して、お申込みいただく場合
- 混成
お申込み後、5/25(土)に実施するチーム・ビルディング・ワークショップを経て、複数の企業や団体でチームを構成する場合 チーム単位の参加費、チーム・ビルディング・ワークショップの参加費(1名ごと)が必要となります。
*お申込み時点で「一般」「混成」、どちらかのカテゴリを選択いただきます

スケジュール

No.
Date

- 2/26(火) 開催発表/実施説明会
- 3月上旬～5/24(金) 参加チーム募集
- セミナー(会場:FinGATE KAYABA、Day2のみ異なります) *は新しい講師(コンテンツ)
 - ・6/18(火) Day1 和泉氏、中川氏、小西氏
 - ・6/28(金) Day2 イノベティブ思考ワークショップ@慶応義塾大学 日吉キャンパス
 - ・7/9(火) Day3 有馬氏、立本教授、今西氏*、平鍋氏
 - ・7/24(水) Day4 渡辺氏、篠原氏、増田氏*
 - ・8/8(木) Day5 鷲崎教授、丸山氏、竹森氏
 - ・8/20(火) Day6 前田氏、徳田教授*
- 9月 相談会
- 10月 一次審査(公開プレゼンテーション)
- 11/22(金) 決勝審査(ET/IoT 2019内ステージにて)

プレゼンテーション審査による決勝大会選出
2018年は、書類のみで一次審査を行っていましたが、せっかく作った企画をプレゼンテーションする機会も提供したいということで、今年は一次審査もプレゼンテーション審査を実施します。

さいごに

IoTイノベーションチャレンジには新しいビジネスを考える技術者が集まっています。ビジネスのデザインのヒントが数多くあります。企業にとって宝の山です。ぜひ、参加をご検討ください。

参加者のみなさんは、ぜひ、日々やっ

る業務とは全く違う世界を楽しんでください。セミナーにはとてもいい話が、たくさん詰まっています。最短の時間で多様な話が聞け、本を読むよりはずっと効率的です。

なお、IoTイノベーションチャレンジはスポンサーの皆さまに支えられたコンテストです。スポンサーにはセミナーの受講資格など、特典が多くあります。多くの企業にスポンサーとして手を挙げていただきたいと思います。特典の内容に応じてダイヤモンドスポンサー、プラチナスポンサー、パールスポンサー、エンジェルスポンサー、プライズスポンサーと5つの枠をご用意しております。詳細資料は、こちらをご覧ください。

<https://www.iot-innovation-challenge.net>